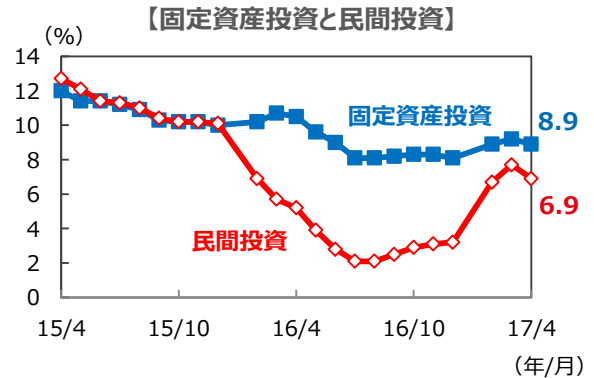


今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2017年5月）

# 生産や投資が鈍化、過熱気味の景気は安定成長へ

## ポイント1 固定資産投資の伸び鈍化 民間投資の伸びが減速

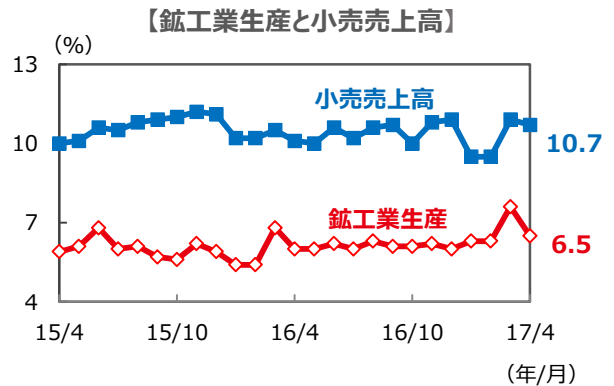
- 中国国家统计局が15日に発表した1～4月の固定資産投資は前年同期比+8.9%と、1～3月（同+9.2%）から増加率が鈍化しました。市場予想（ブルームバーグ、+9.1%）を下回りました。
- 固定資産投資全体の約6割を占める民間投資の伸びが同+6.9%と、1～3月（同+7.7%）から減速したことが伸び率鈍化の背景です。



(注) データは2015年4月～2017年4月、年初来累計の前年同期比。数字は2017年4月。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## ポイント2 鉱工業生産の伸び鈍化 小売売上高も伸び鈍化

- 同日発表された4月の鉱工業生産は前年同月比+6.5%と、3月（同+7.6%）から伸び率が大きく鈍化し、市場予想（ブルームバーグ、+7.0%）を下回りました。4月は、急加速した3月の反動もあると見られます。
- 4月の小売売上高は前年同月比+10.7%と、3月（同+10.9%）から伸び率が鈍化しました。同指標も市場予想（同、+10.8%）をやや下回りました。



(注) データは2015年4月～2017年4月、前年同月比。1月、2月は2月の年初来累計の前年同期比。数字は2017年4月。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## 今後の展開 過熱気味の景気は安定成長へ向かう

- 今月の主要経済指標は市場予想を下回るものが多く、中国経済の回復の動きが鈍化していることを示しました。ただし、4月の指標の減速は、強めに出了た3月の反動もあると見られます。
- 中国当局は、景気の過熱に伴うバブル発生を警戒しており、金融政策を引き締め気味に運営しています。1～3月にやや過熱した中国経済は緩やかに減速し、政府目標（6.5%程度）並みの安定成長へ向かうと思われま。

ここもチェック! 2017年4月20日 上昇が増えた「70都市住宅価格」(中国)  
2017年4月17日 最近の指標から見る中国経済(2017年4月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。